

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン <バレーボール>

令和3年度全国中学校体育大会

第51回全日本中学校バレーボール選手権大会

実行委員会

本大会は、「令和3年度全国中学校体育大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」((公財)日本中学校体育連盟)に基づいて開催する。よく理解して参加すること。バレーボール大会においては、以下のことを遵守すること。

大会に参加するすべての選手、スタッフ、部員、保護者、役員等は、このガイドラインを遵守すること。

1 参加条件

- (1) 大会期間中、選手や引率者等に風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）や倦怠感、味覚嗅覚の異常など、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、そのチームの大会参加を認めず、棄権とする。
- (2) 大会期間中、対戦した相手チームの選手や引率者等に風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）や倦怠感、味覚嗅覚の異常など、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、そのチームの大会参加を認めず、棄権とすることもあり得る。
- (3) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

大会実行委員会事務局（川越市立福原中学校内・小野沢一宏）

TEL：090-4209-6934

2 基本的な感染症予防の徹底 ・マスクの着用 ・手洗い等の徹底 ・3密の回避

3 大会参加申込み

大会参加申込書を作成するにあたり、学校長は保護者の同意を得る。

※ 感染の不安から参加を希望しない生徒については、無理に参加させない。

また監督は、このことによつてトラブルが発生しないよう、十分に配慮すること。

4 体育館への入館

(1) 人数

8月1日現在の各会場の制限に基づき、体育館に入館できる人数は、

- ①登録メンバー（選手、スタッフの最大15名）+最大5名の観戦者とする。

（IDカードを着用する。チームスタッフ・選手＝白、観戦者＝赤）

- ②この5名の観戦者は、部員、保護者、当該校の教員、部活動指導員、外部指導者とし、その内訳は各チームごととする。

また、この5名は試合ごとに入れ替わってもよい。

(2) 入館時間

- ①第1試合のチームは8時15分とする。

- ②第2試合のチームは8時35分以降とする。混雑緩和にご協力をお願いします。

ただし、第1試合の審判生徒役員があるので、遅れないようにしてください。

- ③第3試合以降は試合設定時刻の1時間前を基本とする。（館内の人数が増えないように協力をお願いします。）

- ④チームの入館は、観戦者も含め原則まとまって入館する。

(3) 手続き

- ①チームおよび観戦者は原則としてまとまって入館し、個人の健康観察票（様式2）、チーム健康チェックリスト（観戦者を含む）（様式3）を、透明なクリアケースに入れて提出し、検温を受ける。

- ②チーム健康チェックリストについて

観戦者の5名は試合ごとに入れ替わってもよいが、その日入館する可能性のある者全員を記載しておく。

チーム健康チェックリストを提出するのは監督である。

- ③再入場の際は必ず検温を受けること。観戦者が入れ替わる場合は、IDカードを引き継ぐこと。
- ④退館する際、勝者チームの監督は個人の健康観察票（様式2）の返却を受けること。
チーム健康チェックリストは、翌日新たに提出する。（メンバーが同じであればコピーしておく
とよい。）

5 大会運営

- (1) 開閉会式について 開閉会式は行わず、「開始式」「表彰式」を行う。
- (2) 決勝トーナメント組み合わせ抽選会
8月19日（木）予選グループ戦終了後に、各ブロック代表者による代理抽選とする。
結果は、組み合わせが確定後HPに掲載する。
- (3) 用具や観客席等の消毒について
使用したベンチや観客席の消毒に協力をお願いします。
次のチームは、競技役員による他の用具の消毒等が終わった後、指示にしたがってコートに入る。
- (4) 更衣室等の利用について
更衣室は係員の指示に従って利用すること。短時間の利用を心がけ、互いに譲り合って密にならないよう配慮する。また、マスクを着用し、大きな声での会話は避ける。使用前後に手指の消毒を行う。
- (5) 大会中の健康管理
生徒の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、監督は学校、保護者と確実に、速やかに連絡が取れる体制を構築しておく。

6 競技運営について

- (1) 審判役員について
今大会では、8月19日・20日のラインジャッジ及び点示員は出場チームの登録メンバー（マネージャー、観戦者の生徒を含む）が行う。
したがって、8月19日・20日の第2試合の試合開始前に、30分間のチーム練習時間を設ける。また、第1・2試合のチームの練習会場での練習は割り当てない
- (2) コートチェンジについて
各セットごとのコートチェンジは行わない。
- (3) 競技中の注意事項
プレー中も選手、スタッフ同士の接触機会を減らすよう、以下の点に配慮する。監督は、このことをチームに周知し徹底を図る。
 - ①スタッフは、練習中もマスクを着用する。
 - ②リベロプレーヤーは、ベンチにいる間もマスクを着用する必要はないが、他の参加者との距離を確保する。
 - ③ウォームアップ中も、（特に集団で）大きな声を出さないようにする。
 - ④試合前などの円陣やベンチでの集合時においても、できるだけ密集・接触を避ける。
 - ⑤仲間と手をつないだり、肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチ、ネット際などで相手に向けた状態での発声は控える。
 - ⑥競技中、靴底を手で触らない。
 - ⑦ベンチでは離れて座る。ウォームアップエリアにおいても密にならないよう工夫し、私語は慎む。
 - ⑧コイントス時のキャプテンと審判間のあいさつや、試合前後の握手に関して、当面は一礼などでこれに代える。
 - ⑨タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用は禁止する。
 - ⑩試合終了後も使用したベンチの消毒を行う。次のチームは、競技役員による他の用具の消毒等が終わった後、指示にしたがってコートに入る。